

はじめに

東日本大震災による、原発被害を含む大被害や、尖閣諸島や竹島を巡る国際摩擦から波及する経済危機など、あえぎ気味の現代日本社会において、今、必要とされる英語力とは、外国からの情報の要点が適確に把握できるという能力です。

本書では、英字新聞やインターネットから興味深い英文素材を厳選し、今日的な生きた英語に触れると共に、その情報の要点を即座に把握できる能力を養えるように、設問内容にも創意工夫を凝らしました。さらに、英文ニュースを始めとし、企業ホームページや広報など、さまざまなジャンルの英文を取り上げています。英文スタイルの違いを学びながら、重要な情報はどのように提示されているかも学習できるようになっています。


本書の使い方

さて、当テキストの具体的構成ですが、トップ・ダウン方式の効果的英語習得システムを採用し、**Warm-up**、**Reading**、**Comprehension**、**Further Activity** の4セクションからなっています。また、TOEIC® テストなどの英語資格試験のための基礎力を養うべく、**Warm-up** では、速聴・速読用の設問形式にしています。

以下に、具体的に各セクションのねらいや学習法を説明していますので、本書使用の際に参考にして下さい。

Chapter
1 古都にモダンな博物館

Warm-up 1
音声（京都国際マンガミュージアムの光景）を説明している英文をa～cから選びましょう。



a. ☐
b. ☐
c. ☐

Warm-up 2
次の語句1～10に相当する訳語をa～jから選び、()にその記号を入れましょう。

1. () 引きつけてやまない	a. destination
2. () 必見の	b. attraction
3. () 展示	c. ancient
4. () 目的地	d. townhouse
5. () 現代の	e. exhibition
6. () 強化する	f. strengthen
7. () 大昔の	g. cartoonist
8. () 漫画家	h. contemporary
9. () 町屋	i. irresistible
10. () 魅力	j. must-see

Warm-up 1

TOEIC® テストの Part I の形式で、写真やイラストやグラフを利用して、章で扱っているトピックのイメージを把握します。後のセクションの背景知識を構築する大切なセクションです。

Warm-up 2

語彙のマッチングテストです。このテストで扱う語彙はトピック関連の重要語であるとともに、後続セクションのキーワードにもなっており、解答するだけでなく、しっかり覚えるようにしましょう。

Warm-up 3

問 A、B に答えましょう。

聞

音声 (京都国際マンガミュージアムを訪れる外国人観光客の数について) を聴いて、観光客の多い国順に並べたものを 1 ~ 4 から選びましょう。

1.

オーストラリアーアメリカーフランス

2.

フランスーアメリカーオーストラリア

3.

韓国ー中国ーフランス

4.

アメリカー中国ー韓国

聞

以下の英文を読み、質問に答えましょう。

The Kyoto International Manga Museum was built by the Kyoto municipal government in cooperation with Kyoto Seika University. It is Japan's first museum highlighting manga culture instead of focusing on a specific cartoonist. The museum also invites cartoonists from abroad and holds a special event to exhibit their works. The number of visitors totaled about 240,000 in fiscal 2011 and 305,000 in the preceding year, according to the museum.

Which of the following is true about the Kyoto International Manga Museum?

a.

It was built by a famous cartoonist.

b.

It is the nation's first museum featuring a specific cartoonist.

c.

It focuses only on Japanese cartoonists.

d.

The number of visitors totaled roughly 305,000 in 2010.

Chapter 1 • 京都にマンガな博物館

17

Warm-up 3

背景知識を構築するためのリスニングの練習問題（問 A）と、短い記事を用いた拾い読みの練習問題（問 B）です。できるだけ辞書を引かずに、設問が問うている内容に関係するキーワードに注意して、速読・速聴するように心がけてください。細部が聞き取れなくても、読み取れなくても、それが気にならない姿勢を養いましょう。そうすることで、長い英文を読んだり、聴いたりする場合の抵抗感がなくなります。

Reading

Fans flock to Kyoto manga museum

KYOTO — Kyoto, with its long history and ancient temples, has acquired an additional and contemporary attraction for tourists — a manga museum that has become a mecca for comic book and animation fans around the world.

After opening in 2006 in Nakagyo Ward, the city's downtown area where both modern office buildings and traditional townhouses can be found, the Kyoto International Manga Museum is attracting 200,000 to 300,000 visitors a year, including some 30,000 from abroad.

What many of these visitors find irresistible is the "wall of manga," lined with shelves on which some 50,000 manga published between 1970 and 2005 are stacked up.

With Japanese culture becoming popular around the world, the museum has apparently made it onto the list of must-see tourist destinations among foreigners.

A 29-year-old tourist from Switzerland was one of those visitors from abroad. He said he had wanted to come to the museum ever since he learned about it in a travel guidebook and visited soon after he arrived in Japan.

He owns English-language versions of popular titles such as "Akira" and "Dragon Ball." He said he learned from the museum that there are a huge number of manga titles in Japan and that the manga culture runs deep.

"We're hoping the museum will become a place where manga artists, readers and anyone who likes manga all around the world can gather," a museum spokeswoman said.

To that end, the museum has strengthened its language services, increasing the number of English-speaking staff and adding English translations to most of the exhibition panels.

Notes

flock (群れ集まる)

acquire an additional attraction (新たな見どころを獲得)

stack up (積み上げる)

apparently (どうやら～らしい)

make it onto the list (リストに入るのに成功する)

huge number of (～多数あり)

run deep (深く根づく)

spokeswoman (広報担当者)

18

Reading

社会の色々な分野のトレンドに関して、幅広い見方ができるようなトピックが選択されていますので、興味深く英語学習を続けることができるはずです。このセクションも、できる限り辞書に頼らず、**Warm-up** のセクションで培った背景知識をもとに推理力を働かせて読む癖をつけ、実社会で役立つ、要点を把握しながら速読する力を養うように心がけてください。難解な表現には注 (Notes) を付けていますが、分からない表現が出てきたら、すぐ注を参照するのではなく、あらかじめ意味を類推してから注で確認するという使い方をして下さい。

Comprehension

前ページの英文の中で述べられていることを、1～5から2つ選びましょう。

1. ミュージアムは、京都市の郊外にある。
2. ミュージアムのオープン当初は、あまり訪問客は来なかった。
3. 「マンガの壁」では、有名なアニメーションが上映される。
4. 日本観光において、ミュージアムは必見の目的地となっている。
5. ミュージアムは、英語でのサービス強化に努めている。

Further Activity

以下は、京都国際マンガミュージアムのイベント案内です。1～4のイベントのうち一番深く開催されるのはどれかを答えましょう。

- | Event |
|---|
| MM Summer School: Let's study manga [July 12 - August 26, 2012] |
| ■ A quiz rally to learn about manga [July 12 - August 26; September 1, 2, 8 and 9] |
| ■ Museum Executive Director Yoro Takashi's Summer School of Entomology for children and parents [July 21, August 3] |
| ■ Special Researcher Lectures "Let's become manga Ph.Ds!" [August 15 - 19] |
| ■ Let's draw manga ~ This summer, let's draw lots of manga! ~ [Every Saturday, Sunday, Monday, and Tuesday between July 28 - August 14] |
| ■ Nostalgic Toys from the Showa Period Exhibition [July 12 - August 26] |
| ■ Manga Park [July 12 - September 2] |
| ■ The Hyakumongotari Palace [August 4 and 5] |
| ■ Kyoto Kitayama Brass Band Performance [August 26] |

<http://www.kyotomm.jp/english/>

1. ブラスバンドの演奏
2. マンガを学ぶためのクイズラリー
3. 昭和時代のおもちゃの展示
4. マンガを描く体験

Comprehension

Reading セクションの内容理解を確認するセクションです。長文が苦手な人は、先にこのセクションに目を通し、**Reading** の内容を予測するのもよいでしょう。**Reading** のセクションは、逐語訳しないで、当セクションの答えを探すという拾い読みをすることで、速読力を養うことができます。

Further Activity

章のトピックに関連した、バラエティーに富んだジャンルの英文素材を取り上げています。ジャンル別に重要情報の把握力強化が目的のセクションです。

当テキスト全章を学んだ後では、どんなニュースを目にしても、テキストで練習をした手法を用いて、無意識にウォーム・アップがなされ、重要情報を素早く読み取る力が養われていることでしょう。

著者

CONTENTS

はじめに／本書の使い方	3
英字新聞の読み方	8
Chapter 1 古都にモダンな博物館	16
Chapter 2 下町ボブスレープロジェクト	20
Chapter 3 コンビニも進化する	24
Chapter 4 日本企業が英語で会議	28
Chapter 5 ダブルの悲劇	32
Chapter 6 大学が魚工場で地域に貢献	36
Chapter 7 決死の片道旅行	40
Chapter 8 空港で日本の思い出を	44
Chapter 9 再出発を支えるワザ	48
Chapter 10 家電と自動車のコラボ	52
Chapter 11 アメリカ人映画監督を魅了した老鮫職人	56

Chapter 12	水も過ぎれば毒になる	60
Chapter 13	アキバの新商売	64
Chapter 14	驚きの禁煙パッケージ	68
Chapter 15	東京の地震には火の備え	72
Chapter 16	原発なき沖縄が魅力	76
Chapter 17	ソフトな技術がハードを変える	80
Chapter 18	赤い色には御用心	84
Chapter 19	統計で知るフクシマの実態	88
Chapter 20	愛国心教育、日本の場合	92
Chapter 21	摂取量が健康の鍵	96
Chapter 22	日本経済 SOS	100
Chapter 23	細胞分化のリセットで神に近づく	104
Chapter 24	特許を駆使して技術を守れ	108

英字新聞の読み方

|||||

英字新聞記事は、「ヘッドライン(見出し)」「リード(書き出し)」「ボディー(本文)」のパートからなり、読者が短時間で必要な情報を手に入れることができるように、さまざまな工夫がなされています。どんな工夫があるか、各パート別に見てみましょう。

A

ヘッドライン

ヘッドラインは、ニュースを最も簡潔に伝えるという役割を担っていて、そのため思い切った省略や工夫が慣例的になされており、それを心得ていることが肝要です。また、ヘッドラインは読者を引きつける広告のような役割も果たしていますので、短いだけではなく、しばしば読者が魅力を感じるような表現の工夫もなされています。次に、その慣例の特徴をまとめ、それらの特徴を含んだヘッドラインを例示しました。

1 時制の用法

a. 過去・現在完了は現在形で表す。

Sony unveils PS4 gaming console

ソニーがゲーム機「プレイステーション 4」を売り出すことを発表したというニュースですが、「発表した」という過去の出来事を伝える動詞を現在形で表しています。過去形を使用すると、ニュースが「過去のもの」という印象になり、発売となる製品まで古いと読者に感じさせないための工夫です。このように、多くのヘッドラインでは、ニュースの臨場感を強調するために、動詞の過去形の代わりに現在形が用いられています。

b. 未来は主に「to+ 動詞」で表す。

New York Times to sell Boston Globe

デジタル時代に直面し合理化を狙って、ニューヨークタイムズ社が傘下の『ボストン・グローブ』を売却へという、未来のことを伝えるニュースです。未来の出来事に will を使用するより、不定詞を用いた方が切れ味の良い表現となります。will があえて用いられている場合は、意志未来になることが多いです。

2 分詞の用法

a. 現在分詞は主に近い未来・予定を表す。

Case against Pistorius beginning to unravel

be 動詞が、現在分詞 (beginning) の前で省略されています。省略することで、語数が少なくなります。そのことで活字を大きくすることができ、よりヘッドラインが強調されます。また、現在分詞を用いた未来を使用すると、切迫感が強調されるという効果もあります。「ブレードランナー」の異名を持つ義足の陸上選手ピストリウスが恋人を誤って射殺という事件が解明され始めたという緊張した雰囲気が伝わってくるヘッドラインです。

b. 過去分詞は主に受動態を表す。

Top justice in Kenya threatened before vote

be 動詞が、過去分詞 (threatened) の前で省略されています。ケニアの裁判長が選挙前に裁判がらみで脅迫されたというニュースです。

3 語数を少なくするためのさまざまな工夫

a. 冠詞・Be 動詞・代名詞の所有格は省略する。

Dinosaur tooth unearthed on Shimokoshiki Island

この例では、dinosaur tooth の前に a が省略されています。鹿児島県下甕島（しもこしきしま）で、恐竜の歯根のかけらがひとつ出土したニュースを伝えています。

b. コンマにより and を省略する。

Mexican police, soldiers tied to disappearances

メキシコでは麻薬がらみで行方不明者が多数出ていますが、それに警察官や兵士が関わっているというニュース報道です。and を省略すると畳みかけるような語調となり「兵士までもが」というメッセージが切れ味良く伝わっています。

c. コロンにより発言者（情報源）と発言内容（情報）を分ける。say などの伝達動詞を省略する手法。

U.S.: Japan must negotiate

アメリカ合衆国のロナルド・カーク通商代表が、日本は TPP への交渉に参加をするべきだと発言したことを取り上げたニュースのヘッドラインです。

4 好まれる短い語

a. ピリオドによる短縮

Particles from N. Korea test prove elusive

北朝鮮の核実験の確たる証拠となる物質は発見されなかったというニュースですが、N. Korea は North Korea の省略です。団体や国名や人名などの固有名詞が、しばしばピリオドを用いて短縮されることがあります。

b. 頻出単語の短縮

Govt office to boost medical innovation

national や international など、頻出語は natl や intl のように短縮されることがあります。また省略箇所を示すために、gov't のようにアポストロフィーを入れて表記されることもあります。このニュースは、政府が医療分野の改革を推し進めようとしていることについて報道したのですが、govt は government の短縮語です。

c. 略語の使用

DPJ must learn from the past

民主党は、過去の過ちから学ばねばならないという内容の社説のヘッドラインですが、DPJ は Democratic Party of Japan の略語です。

d. 短い綴り語の使用

Natl database eyed for cancer patient information

癌患者の情報をデータベース化する計画を国がもくろんでいるというニュース。「計画する」という意味の単語には、attempt、plan、design などがありますが、このような長いヘッドラインでは、短い綴り語の eye の使用が文字数削減に役立ちます。さらにこのヘッドラインでは、national の短縮語 natl が用いられ、更に文字数が効果的に削減されています。

ヘッドラインによく用いられる短い綴り語

accord	協定	laud	賞賛する	quest	追求する
body	団体	loom	迫る	rap	非難する
boost	上げる	map	計画する	row	論争
coup	クーデター	mark	示す	rush	急ぐ
curb	抑制（する）	mart	市場	score	非難する
cut	削減（する）	nip	阻止する	slash	削除する
eye	注目する / もくろむ	nix	否認する	slay	殺す
head	率いる	nuke	核兵器	stem	阻止する
hike	引き上げる	OK	承認する	talk	会談（する）
ink	締結する	oust	追放する	term	称する
key	重要な	pact	協定	top	越す
lash	攻撃する	poll	世論調査	vie	争う

5 読者を引きつける表現の工夫

The rise of the robots

読者が知っている映画や本、あるいは有名人のセリフ、名言などをもじってヘッドラインが書かれることがあります。The rise of the robots は 1994 年に一世を風靡したゲームソフトのタイトル Rise of the Robots をもじったものですが、ロボットが台頭するようになったら、将来賃金や雇用はどうなるのかということについて書かれた記事につけられたものです。ハードな内容の記事ですが、ゲームのタイトルを用いていることが、より読者の興味を引きつけるのに役立っています。

ニュース記事の書き出しの一段落は記事の簡潔な要約で、5Ws (Who, What, When, Where, Why) と 1H (How) の情報ができるだけ入るように書かれています。リード部分の情報は、読者が記事を先に読み進めるかどうかを決定するのに役立ち、効率的な読みを促します。

1 ニュース記事のリード

以下の記事は、日本の貿易赤字について伝える記事です。どのような情報が入っているかを確認しましょう。

Trade deficit hits ¥1.6 tril. In January

Tokyo—Japan suffered a record trade deficit of ¥1.63 trillion in January as the value of fuel imports surged due to the rapid weakening of the yen, according to Finance Ministry statistics released Wednesday.

Who … 財務省が

What … 1 月に、日本の貿易赤字が 1 兆 6300 億円に達したという統計を発表した

When … 水曜日に

Where … 東京で

Why … 石油輸入価格の高騰が理由で

How … 急速な円安により

またリードの前にあるニュースの発信場所を示す地名には、通信社の社名が明記されることがあります。たとえば、Beijing (AP) は、北京から AP 通信社が発信をしているということになります。主な通信社には以下のようなものがあります。

- | | |
|-----------|---|
| AP | : Associated Press (AP 通信社) アメリカ |
| UPI | : United Press International 合同国際通信社 アメリカ |
| ITAR-TASS | : ITAR タス通信 ロシア |
| Reuters | : ロイター通信社 イギリス |
| Jiji | : 時事通信社 日本 |
| Kyodo | : 共同通信社 日本 |
| NCNA | : 新華社通信社 中国 |
| AFP | : フランス通信社 フランス |

・ AP, UPI, Reuters, AFP は西側四大国際通信社とされている。

2 社説・論説記事のリード

社説・論説記事は、一連のニュースの解説やそのニュースに対する意見を発表しています。したがってリードの部分では、当該ニュースの概要や背景がまとめられたり、ニュースに対する問題提起が行われたりします。ニュース記事と異なり、ある程度時間が経過してから書かれますので、読者がニュースについて情報を持っていることを想定し、ニュース記事のような細かい具体情報は省かれることが多いです。以下の社説のリードを見てみましょう。

Govt must continue pushing coal thermal power generation

As a nation that relies on foreign energy resources, Japan needs to secure a stable supply of cheap electricity. In the wake of the disaster at Tokyo Electric Power Co.'s Fukushima No. 1 nuclear power plant, almost all nuclear reactors in the nation have been idled. Thermal power generation using coal, which is cheaper and more readily available than oil and other fossil fuels, is worth taking another look at.

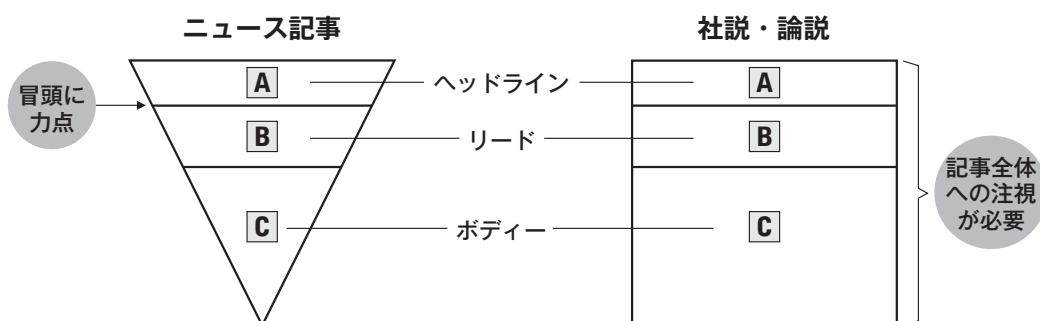
東日本大震災以降、石炭を使った火力発電を推進しなければならないという主張の社説です。下線部で、福島第一原発の事故がきっかけでほとんどの原発が停止しているという社説の背景が簡単に紹介されています。

C ボディー

ニュース記事と社説・論説のボディーの構造は異なります。ニュース記事は、リードで5Ws1Hという最重要情報が示され、その後は、より些末な具体的情報を付加していくという「逆三角形」構造を取ります。一方、社説・論説は、リードにおいて、取り上げられるニュースの概説や問題提起、次にそのニュースに対する意見や解説、最後に結論が述べられるという「四角形」構造をしています。さらに、結論部は、しばしばニュースを一般化した視点で述べられるのも特徴です。ニュース記事のように最初に力点を置いて読むのではなく、記事全体を注意深く読む必要があります。上で取り上げた社説の結論部は次ページのようになっています。

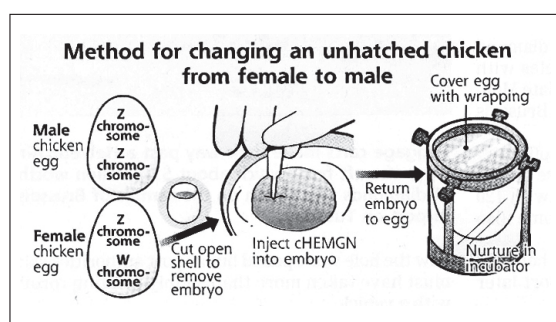
Many coal-fired plants in emerging countries, such as China and India, are inefficient. If these nations are to utilize Japan's high-performance equipment, however, it can act as a favorable contribution toward dealing with a global environmental issue.

日本の技術を新興国で利用すれば、世界の環境問題により影響になるだろうと結論づけていますが、石炭の火力発電に関する記事を、世界の環境問題に一般化して締めくくっています。



D キャプション（説明文）

記事の写真やイラストやグラフなどの視覚情報は、記事を読む際の背景知識として非常に役立ちます。写真やイラストには、キャプションと呼ばれる説明文が伴われることがあります。以下の例では、タイトルがキャプションの代わりをつとめています。



このイラストは、“**Female chickens made male in experiment**”というタイトルの記事に添えられていたものです。「ニワトリのメスが実験でオスになった」という、信じられないような記事ですが、実は、イラストを見るとニワトリの胚を遺伝子操作する実験だということが分かります。

古都にモダンな博物館

CD1
01

Warm-up 1

音声を聴いて、写真（京都国際マンガミュージアムの光景）を説明している英文を a ~ c から選びましょう。

a. ☐b. ☐c. ☐CD1
02

Warm-up 2

次の語句 1 ~ 10 に相当する訳語を a ~ j から選び、（ ）にその記号を入れましょう。

1. () 引きつけてやまない

a. destination

2. () 必見の

b. attraction

3. () 展示

c. ancient

4. () 目的地

d. townhouse

5. () 現代の

e. exhibition

6. () 強化する

f. strengthen

7. () 大昔の

g. cartoonist

8. () 漫画家

h. contemporary

9. () 町屋

i. irresistible

10. () 魅力

j. must-see

Warm-up 3

問 A、B に答えましょう。

CD1
03

問

A

音声（京都国際マンガミュージアムを訪れる外国人観光客の数について）を聴いて、観光客の多い国順に並べたものを1～4から選びましょう。

1. オーストラリアーアメリカーフランス
2. フランスーアメリカーオーストラリア
3. 韓国ー中国ーフランス
4. アメリカー中国ー韓国

CD1
04

問

B

以下の英文を読み、質問に答えましょう。

The Kyoto International Manga Museum was built by the Kyoto municipal government in cooperation with Kyoto Seika University. It is Japan's first museum highlighting manga culture instead of focusing on a specific cartoonist. The museum also invites cartoonists from abroad and holds a special event to exhibit their works. The number of visitors totaled about 240,000 in fiscal 2011 and 305,000 in the preceding year, according to the museum.

Which of the following is true about the Kyoto International Manga Museum?

- a. It was built by a famous cartoonist.
- b. It is the nation's first museum featuring a specific cartoonist.
- c. It focuses only on Japanese cartoonists.
- d. The number of visitors totaled roughly 305,000 in 2010.

Fans flock to Kyoto manga museum

KYOTO — Kyoto, with its long history and ancient temples, has acquired an additional and contemporary attraction for tourists — a manga museum that has become a mecca for comic book and animation fans around the world.

5 After opening in 2006 in Nakagyo Ward, the city's downtown area where both modern office buildings and traditional townhouses can be found, the Kyoto International Manga Museum is attracting 200,000 to 300,000 visitors a year, including some 30,000 from abroad.

10 What many of these visitors find irresistible is the “wall of manga,” lined with shelves on which some 50,000 manga published between 1970 and 2005 are stacked up.

With Japanese culture becoming popular around the world, the museum has apparently made it onto the list of must-see
15 tourist destinations among foreigners.

A 29-year-old tourist from Switzerland was one of those visitors from abroad. He said he had wanted to come to the museum ever since he learned about it in a travel guidebook and visited soon after he arrived in Japan.

20 He owns English-language versions of popular titles such as “Akira” and “Dragon Ball.” He said he learned from the museum that there are a huge number of manga titles in Japan and that the manga culture runs deep.

“We’re hoping the museum will become a place where
25 manga artists, readers and anyone who likes manga all around the world can gather,” a museum spokeswoman said.

To that end, the museum has strengthened its language services, increasing the number of English-speaking staff and adding English translations to most of the exhibition panels.

flock 「押し寄せる」

acquire an additional attraction 「魅力を付け加える」

mecca 「あこがれの地」

stack up 「積み上げる」

apparently 「どうやら～らしい」

make it onto the list 「リストに入るのに成功する」

huge number of… 「多数の～」

run deep 「深く根付く」

spokeswoman 「広報の女性」

Comprehension

前ページの英文の中で述べられていることを、1～5から2つ選びましょう。

1. ミュージアムは、京都市の郊外にある。
2. ミュージアムのオープン当初は、あまり訪問客は来なかった。
3. 「マンガの壁」では、有名なアニメーションが上映される。
4. 日本観光において、ミュージアムは必見の目的地となっている。
5. ミュージアムは、英語でのサービス強化に努めている。

Further Activity

以下は、京都国際マンガミュージアムのイベント案内です。1～4のイベントのうち一番遅く開催されるのはどれかを答えましょう。

Event

- MM Summer School: Let's study manga 【July 12 – August 26, 2012】
- A quiz rally to learn about manga 【July 12 – August 26, September 1, 2, 8 and 9】
- Museum Executive Director Yoro Takeshi's Summer School of Entomology for children and parents 【July 21, August 3】
- Special Researcher Lectures “Let's become manga PhDs!” 【August 15 - 19】
- Let's draw manga ~ This summer, let's draw lots of manga! ~ 【Every Saturday, Sunday, Monday, and Tuesday between July 28 – August 14】
- Nostalgic Toys from the Showa Period Exhibition 【July 12 – August 26】
- Manga Park 【July 12 – September 2】
- The Hyakumonogatari Palace 【August 4 and 5】
- Kyoto Kitayama Brass Band Performance 【August 26】

参照ホームページ <http://www.kyotomm.jp/english/>

1. ブラスバンドの演奏
2. マンガを学ぶためのクイズラリー
3. 昭和時代のおもちゃの展示
4. マンガを描く実体験